

総合単元名	あたたかい心をもって！		10月～12月	全11時間
めざす子ども	あたたかい心で、進んで親切にする子			中心項目 2- (2)
ねらい	身近な人や困っている人に対して、相手の立場に立ち、温かい心で進んで親切にしようとする態度を育てる。			関連項目 2- (3)
<p>単元設定の理由</p> <p>2年生の児童は、仲のよい困っている友達に進んで声をかけたり、助けようと行動したりすることができる。しかし、自分より弱い立場であると感じる児童に対してきつい言葉を言ったり、命令口調になったりする児童の姿も見られる。そこで、仲良しの友達はもちろんのこと、他の身近な友達や他の人に広く目を向け、温かい心で接し、親切にしようとする態度を育てたいと考え、本単元を設定した。</p>				
時期	教科・特別活動	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	子どもの意識の深まり
10月	<p>①体育科 10月(1時間) 「表現リズム遊び」 踊り方を互いに教え合い、練習に取り組むことができる。</p>	<p>②&lt;思いやり・親切&gt; 2- (2) 10月(1時間) 「しっぽのないさる」 モンちゃんが、友達の励まして明るくなっていくときの気持ちを考えるを通して、友達のモンちゃんへの思いやりに気付き、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。</p>	<p>(◆係・当番活動) 友達にやさしい声をかけながら活動することができる。</p>	<p>①覚えられないところを教えられてもらってうれしい気持ちになったよ。 ◆当番を忘れていて、友達がやさしく声をかけてくれていい気持ちになったよ。 ②友達がやさしくしてくれたからモンちゃんは元気になれたんだな。友達に優しくすることって大切だな。 ③かえるくんはがまくんのことを思っているんだね。どちらもうれしくなるね。 ④はなこは、ありたちがはなこたちのためにしてくれたことがうれしかったんだな。ぼくは、ありたちのようにできるかな。 ⑤友達や1年生が困っていたら教えてあげたいな。 ★友達に優しく声をかけてあげたいな。</p>
	<p>③国語科 10月(1時間) 「お手紙」 友達に対するやさしい気持ちを感じながら読むことができる。</p>	<p>④&lt;友情、助け合い&gt; 2- (3) 11月(1時間) 「ひろったビスケット」&lt;本時&gt; 他のありさん達が、カステラをとっておいて、励ましてくれた時の「はなこ」の気持ちを考えるを通して、友達と助け合うことの大切さに気付き、友達を大切にしようとする心情を育てる。</p>		<p>⑥はなこは、ありたちがはなこたちのためにしてくれたことがうれしかったんだな。ぼくは、ありたちのようにできるかな。 ⑤友達や1年生が困っていたら教えてあげたいな。 ★友達に優しく声をかけてあげたいな。</p>
11月	<p>⑤音楽科 11月(3時間) 「いろいろな音に親しもう」 友達と心を通わせながら歌ったり演奏したりできる。</p>	<p>⑥&lt;思いやり・親切&gt; 2- (2) 11月(1時間) 「ぐみの木と小どり」 病気のりすの家にぐみを持って行く小鳥の気持ちを考えるを通して、身近な人に温かい心で接することの大切さに気付き、進んで親切にしようとする態度を育てる。</p>	<p>(★業間遊び) 友達にやさしい声をかけながら、仲良く遊ぶことができる。</p>	<p>⑥小鳥は思いやりがあるよ。相手のことを考えて温かい気持ちで接することが大切だな。これから困っている人のことを考えていきたいな。 ⑦1年生や畑の先生に親切にしたら喜んでくれたよ。これからも、親切にしていきたいな。 ■友達にやさしく接すると、喜んでくれたから、ぼくもいい気持ちになれたよ。これからも友達に親切にしていきたいな。</p>
12月	<p>⑦生活科 12月(3時間) 「わくわくどきどきフェスティバル」 1年生や畑の先生に親切にしながらフェスティバルができる。</p>		<p>(■帰りの会) 「今日のきらり」で友達に優しくしてもらってうれしかったことを発表し、認め合うことができる。</p>	
<p>あたたかい心で、進んで親切にする子</p>				

# 「道徳の時間」学習指導案

指導者 井上 優香

- 1 日時 平成24年11月22日(木) 第5校時
- 2 学年 第2学年 男子19名 女子8名 計27名
- 3 主題名 友だちっていいな 関連項目 2-(3)〈友情、助け合い〉  
中心項目 2-(2)〈思いやり・親切〉
- 4 ねらい 他のありさん達が、カステラをとっておいて、励ましてくれた時の「はなこ」の気持ちを考えることを通して、友達と助け合うことの大切さに気付く、友達を大切にしようとする心情を育てる。
- 5 資料名 ひろったビスケット (出典:「みんなのどうとく」学研) 一部改作

## 6 主題設定の理由

- よりよい人間関係を築くには、日常生活の様々な場面において、互いに相手の人格を認め合い、助け合うことが大切である。困ったときに救いの手を差し伸べられると、とてもうれしく感謝するものである。

この時期の児童は、友達関係がしだいに定着し、親密さが増してくる。しかし、友達と仲良くしようという意識はあるが、自分本位の意志を通そうとしたり、仲の良い友達以外の人の困苦には無関心であったりする。また、親切にする対象も仲の良い友達だけなどと限られてくる。そこで、集団生活や友達関係に慣れたこの時期に、他の人との関わりの中で、誰に対しても温かい心で接し、親切にすることの大切さに気付かせたいと考え、本主題を設定した。

- 本学級の児童は、友達がこけて泣いていたり、道具をなくして困っていたりする時、お互い声を掛け合い、みんなで楽しく過ごそうとしている。事前アンケートでは、「困っている時に、友達に優しく声をかけられるとうれしくなる。」というアンケートに対して、90%の児童が肯定的な回答をした。つまり、友達に優しくされると、うれしい気持ちになる経験をしていることが分かる。しかし、中には、「声をかけられたことはあるけど、その時の気持ちは忘れた。」と経験を実感できない児童もあり、友達との関係が希薄であるため、経験が少ないことが見えてきた。また、「困っている友達に自分から優しく声をかける。」というアンケートに対して、30%の児童が否定的な回答をした。理由としては、「友達が困っている場面に出会ったことがないから。」「あまり仲のいい友達ではなかったから。」などであった。つまり、困っている時に、友達に優しく声をかけられるとうれしくなることは分かっているけれど、友達との関わりが少ないこともあり、困っている友達がいてもどのような気持ちか考えることができていないと考えられる。また、児童の日々の行動を観察していると、友達を助けようと声をかけるのだが、命令口調になる姿が見られる。

児童の中には、自分の行動や気持ちを優先して自分の思いを通そうと強い言葉をぶつけている子もいる。

- 本資料は、たろうとはなこが、拾ったビスケットをこっそり二人で食べようとして穴に落ち、仲間に助けられて、二人のためにとっておいたカステラを差し出されるという話である。

指導にあたっては、「はなこ」の気持ちの変化を考えさせながらねらいに迫っていきたい。導入では、「おつかいありさん」を楽しく歌って、本時の意欲付けを行って、展開につなげていきたい。展開前段では、たろうに「二人でこっそり食べよう。」と言われたときははなこの気持ちに深く共感させたい。中心発問では、他のありさん達が、二人のためにカステラをとっておいて、励ましてくれた時の「はなこ」の気持ちを考えさせ、友達と仲良くしていくことの大切さに気付かせたい。その際、ワークシートを活用し、自分の考えをまとめさせる。そして、ペアトークさせることにより、自信を持って発表できるようにさせる。展開後段では、自分自身を見つめさせ、友達と仲良くすることのよさを感じさせたい。終末では、児童の日記を紹介し、余韻を残して終わるようにする。

学習後には、帰りの会の「今日のきらり」で友達に優しくしてもらってうれしかったことなどを伝え合い、あたたかい心で親切にするよさを実感させていく。

「伝え合う」については、一人一人が自分の思いや考えをもって発表し、周りの児童はしっかりと聞くという段階である。

- 7 準備物 場面絵、お面、児童の日記

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)・改善点(◎)
導入	1 「おつかいありさん」を歌い、意を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで歌って楽しいな。</li> <li>・本当にありさんの世界に行ってみたんだよ。</li> </ul>	○楽しく歌を歌わせ、意欲付けを行う。
展開	2 資料の前段を聞いて、たろうに「二人でこっそり食べよう。」と言われた時はなこの気持ちを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○たろうに「草むらで、こっそり二人で食べようよ。」と言われた時、はなこはどんな気持ちになったでしょう。</li> <li>・二人で食べたいな。</li> <li>・みんなにないしょで食べようかな。</li> <li>・二人で食べたら、いっぱい食べれるな。</li> <li>・みんなも食べたいだろうな。</li> </ul>	○役割演技をさせることによりはなこの気持ちを考えやすくさせる。
	3 他のありさん達が、カステラをとっておいて励ましてくれた時の「はなこ」の気持ちを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「これを食べて元気を出して。二人のためにとっておいたんだ。」と言われて、はなこはどんなことを考えながら泣いているのでしょうか。</li> <li>・たろうとビスケットを食べようとしてごめんね。</li> <li>・助けてくれてありがとう。</li> <li>・カステラまでとっておいてくれたんだ。</li> <li>・みんなは優しいな。</li> <li>・ぼくたちのためにとっておいてくれたんだ。</li> </ul> <p>[ 補助発問 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●他のありさんたちは、どんな気もちで「これを食べて元気を出して。二人のためにとっておいたんだ。」と言ったのでしょうか。</li> <li>・二人が喜ぶかな。</li> <li>・みんなで食べたらおいしいよ。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◎はなこの気持ちを考えさせ、ワークシートに書き、ペアトークさせることによって、自信を持たせる。</div> <p>○友達のことを考え、助け合おうとしている気持ちを考えさせる。</p>
終末	4 自分自身を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなも友達に、何かしてもらってうれしいなと思ったことがありますか。</li> <li>・物をたくさん落とした時、友達がすぐ拾ってくれて、うれしかったよ。</li> <li>・宿題の直しをしているとき、友達が励ましてくれて、うれしかったよ。</li> </ul>	○把握した価値に照らし合わせ、今までの生活の中で自分自身を具体的に振り返らせる。
	5 児童の日記を読む。		★友達と助け合うことの大切さに気付くことができたか。

友だちのために

- ・わたしたちは、ビスケットをたべようとしていたのに...
- ・カステラまでとっておいてくれたんだ。
- ・みんなはやさしいな。
- ・ほくたちのためにたすけてくれるうれしいな。

たすけたいな

こまっているな

ようこんでくれるかな

二人がよるこぶかな。

みんなであべたらおしいよ。

かくれようとしたとたん、あなにおちた

二人が穴に落ちる  
挿絵

二人が泣いている  
挿絵

ひろったビスケット

二人でたべたいな。

みんなにないしよたべようかな。

二人でたべたら、いっぱいたべれるな。

みんなもたべたいだろうな。

ビスケットを見つけた挿絵

ひろったビスケット (名前)

「二人のためにとっておいたんだ。」と言われて、はなこはどんなことを考えながら泣いているのでしょうか。

はなこが泣いている  
挿絵

きょうの学しゅうをかりかえって、考えたことを書きましよう。